

発掘だより

おかとおだいせき 岡遠田遺跡 (丸亀市飯山町)

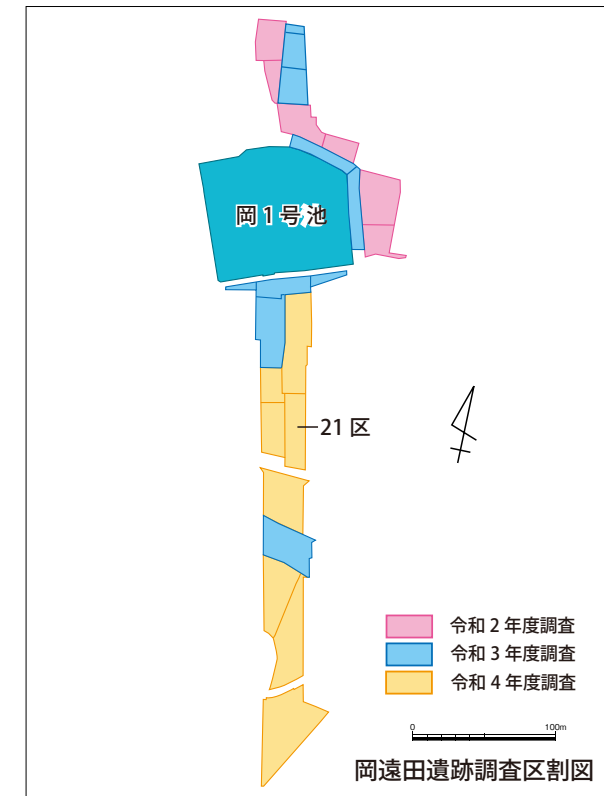
岡遠田遺跡は丸亀市飯山町上法軍寺に所在し、岡田台地に位置する遺跡です。令和2年度から継続的に発掘調査を行い、今年度が3度目の調査となります。これまでの発掘調査から、弥生時代後期や古墳時代中・後期の竪穴建物跡、鎌倉時代の掘立柱建物跡などの集落跡が確認されています。

9月には遺跡のほぼ中央に位置する21区を調査しました。この調査区では、弥生時代後期の竪穴建物跡2棟と弥生時代後期の土器を大量に廃棄した土坑跡4基などが検出されました。このうち、中央部に位置する竪穴建物跡から焼けた土の塊や炭化した木材などが出土したことから、この建物跡は焼失家屋（火事で焼けた建物）と考えられます。

21区の調査で、弥生時代後期の集落跡が岡1号池の北側から遺跡の中央部付近まで広がっていることが明らかとなり、岡遠田遺跡が広範囲に広がる弥生集落であったことが分かってきました。



21区全景写真（北より）。手前に写っているものが弥生土器を廃棄した土坑跡です。中央部の竪穴建物跡は焼失家屋と考えられます。



中央部の竪穴建物跡で焼け落ちた屋根材を検出しました。白線で二重丸に囲っているものは屋根を支えた柱を埋めた柱穴跡です。



◀ 寄贈資料の写真撮影
白峰中学校職場体験

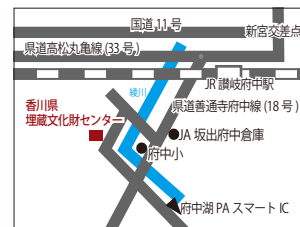
▲ 寄贈資料の整理
まいぶんボランティアの活動

いにしへの
讃岐

香川県埋蔵文化財センター情報誌

NO.111

香川県埋蔵文化財センター
〒762-0024 香川県坂出市府中町字南谷5001-4
tel. 0877-48-2191 fax. 0877-48-3249
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/maibun/maibun/index.html>



寄贈資料の整理

当センターには県民の方々から寄贈された考古資料を多数保管しています。当センターではまいぶんボランティアや職場体験の生徒といっしょに資料の整理を行っています。17名登録しているまいぶんボランティアは交代で、毎月1回程度これらの資料の写真を撮影し、資料の観察を記録し、整理用コンテナにわかりやすく収納しています。

これらの資料は大切に保存されるとともに、展示や体験活動などに活用されています。令和4年7月15日～8月21日まで、三豊市にある宗吉かわらの里展示館で開催したテーマ展「三豊市の寺院跡と瓦」で、三豊市の古代寺院跡の妙音寺遺跡・道音寺遺跡の瓦7点、古代から中世にかけての寺院跡である船積寺跡の瓦10点を展示しました。

また、当センターにおいて、令和5年1月まで「讃岐国分寺跡と府中・山内瓦窯跡」をテーマとした展示で、寄贈資料31点を展示しています。

田中一治 所蔵資料▶

左 ナカンド浜（坂出市）採集の製塩土器 古墳時代前期

右 羽間池（まんのう町）・御厩池（高松市）・横山廃寺（坂出市）採集の土師質土器・須恵器杯 鎌倉時代～室町時代



▲安藤文良 所蔵資料・田中一治 所蔵資料
三豊市船積寺跡の瓦



▲「三豊市の寺院跡と瓦」展示風景 宗吉かわらの里展示館



▲川畑 迪 所蔵資料

上 軒丸瓦・軒平瓦 開法寺跡（坂出市）
飛鳥時代末から奈良時代

左下 横長剥片 国分台（高松市・坂出市） 旧石器時代

右下 横長剥片 ナイフ形石器 城山（坂出市） 旧石器時代

ご紹介

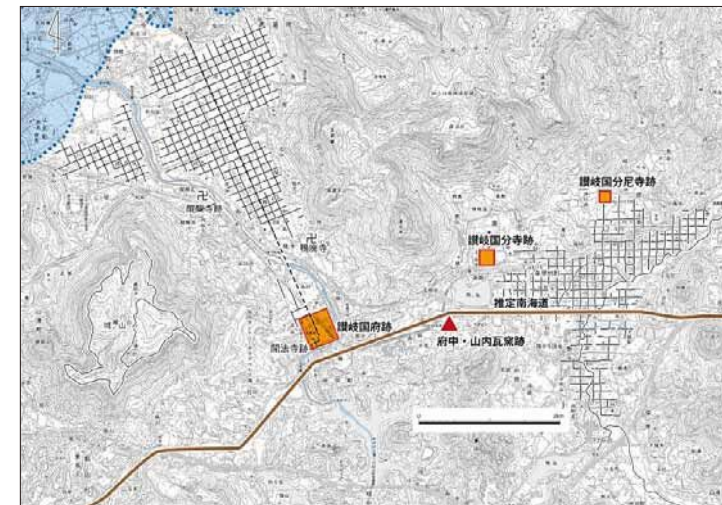
香川県埋蔵文化財センター テーマ展

讃岐国府跡と府中・山内瓦窯跡

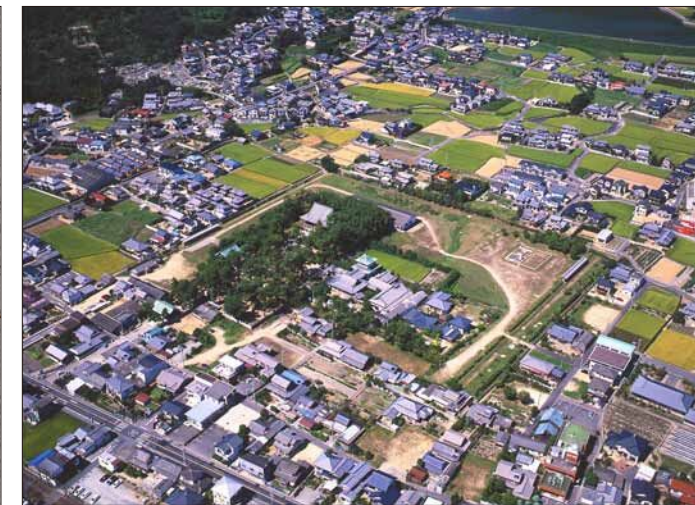
令和4年10月17日～令和5年1月27日

国分寺とは奈良時代の中ごろ、^{しょうむてんのう}聖武天皇が仏教の力で国を守るとい^{ちんごこっか}う鎮護国家思想のもとに、当時の国ごとに建てることを命じた寺です。讃岐国分寺は現在の高松市国分寺町国分に建立されました。現在の八十番札所白牛山千手院国分寺の境内及びその周辺には遺構が良好に残存しており、学術上特に価値が高いことから、1952（昭和27年）に国の特別史跡に指定されました。

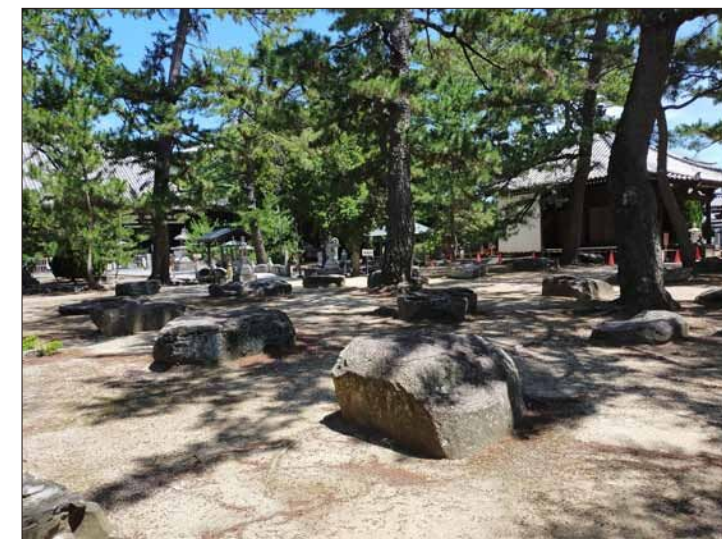
今回のテーマ展は特別史跡の指定から70年目を迎えた讃岐国分寺跡と、讃岐国分寺の瓦を製作した府中・山内瓦窯跡（坂出市府中町・高松市国分寺町新名）をパネルと遺物で紹介するもので、当センターに寄贈された讃岐国分寺跡及び府中・山内瓦窯跡で採集された約30点の瓦などを展示しています。



▲ 讃岐国分寺の位置 坂出市都市計画図・高松市都市計画図の一部に加筆



▲ 讃岐国分寺跡全景 写真提供：高松市教育委員会



▲ 讃岐国分寺跡 金堂跡



▲ 府中・山内瓦窯跡 1号窯跡は覆屋に覆われています



▲ 軒丸瓦 府中・山内瓦窯跡 奈良時代
田中一治 所蔵資料



▲（写真左）軒丸瓦 讃岐国分寺跡
（写真中央）軒丸瓦 府中・山内瓦窯跡
（写真右）軒平瓦 府中・山内瓦窯跡
いずれも平安時代 安藤文良 所蔵資料



▲ 1号窯跡の内部